

パートナーシップさいたままで開催した講座や講演会を報告します。

# さいたま市男性短期カレッジ

生き方再考・私生活の充実へ!

2005年11月5日から全6回で開催された男性カレッジ。男性が自分の生き方を問い直し、これからの生活をより充実させるにはどうしたらいいのかを考えるこの講座に、30代から70代までの幅広い年代の男性が参加しました。

考え方も経験も様々な受講者が、講師をまじえ、男性の自立、性、容姿などについて活発な意見交換が行われました。

最終回には、課題整理と問題提起として、男女共同参画の定義から、歴史的経緯、今後の課題について学びました。その後お茶を飲みながらフリートークし、これからも意見交換を行いながら学習を続けようということになり、自主グループ結成に動き出しました。

趣味や仕事とは違う、新しいコミュニケーションの場として自主グループが「男性短期カレッジ」から誕生しそうです。



## カリキュラムと感想

### ①ボクの意見、アナタの意見 -オトコの自己表現トレーニング

講師: 下村 美恵子 (パートナーシップさいたま事業コーディネーター)  
受講者の感想から

世代の違う方々といろいろな意見が取り交わされて有意義だった。期待していた以上に楽しかった。

### ②それをドメスティック・バイオレンスという -夫・恋人からの女性への暴力

講師: 戒能 民江さん (お茶の水女子大教授)  
受講者の感想から

具体的な数字や事例から、法律まで幅広くお話いただき大変分かりやすかった。改めてDVは人権問題なのだと思わされた。

### ③男は変わり目、変わりどき -男らしさから自分らしさへ

講師: 関口 久志さん (千葉大講師)  
受講者の感想から

男性社会は、とかく縦型社会で、その考えが骨身に染み付いている。横の関係をつくるのが自分はへたなので、これからの横の関係を、いろいろ考えていきたい。

### ④男性解体新書 -性と生をめぐる神話と思い込み

講師: 関口 久志さん (千葉大講師)  
受講者の感想から

性の問題は、なかなか難しいことだが、やはり一番考えなくてはならないことだと思った。自分が息子にしてきた教育は正しかったと思う。今後は少しでもよい社会になるよう私なりに努めたい。

### ⑤オトコだって悩んでいる -髪や、背文や、話しベタ...そして

講師: 須長 史生さん (昭和大学講師)  
受講者の感想から

早く聞いていればもっとよい人生を送っていたのではと思う。分かりやすい講義だった。

### ⑥良薬口に苦し -飲む?飲まない?男女共同参画というクスリ

講師: 下村 美恵子 (パートナーシップさいたま事業コーディネーター)  
受講者の感想から

時間のやりくりが大変だったが全回受講できた。子育て中の若い男性もメンバーにいて、いろいろな意見が飛び交い面白かった。6回では短すぎて、これからという感じのときが最終回となり残念だった。

## 男性短期カレッジを受講して



6回にわたる計13時間の講座。男性と女性が対等な関係を築きながら社会の仕組みをより公正に、より機能高く作り変えていくというテーマが、自分の中でこれから広がりをもたせていく契機になるだろうと感じた連続講座であった。託児室に幼児を預けて受講するお父さんたち、老紳士風など様々な歩みをしてきた受講生が意見を出し合っている様子を見て、このような男女の共生社会を目指すのかを考えた。男性に都合よくできあがり、男性本位で運営されてきた世の中に、「長年とつらいつらいつら生きてきたのだから、この「短期カレッジ」を修了したからといって「何かが変わった」となってレベルとはほど遠いと思っていた。幸いなことに修業者で、今後も集まりをもつ勉強会を続けようという運びになったことは、これからは仲間と共に学びたいと考えている。

(野田 義隆)

パートナーシップさいたまが主催する講座・講演会の情報は「市報さいたま」でお知らせしています。

## 講座・女と男のトレンド社会学

### ●第1回 「絶望のソナター夫と妻、思いがずれ違うのはなぜ?」

1/18 お話: 西田 小夜子さん  
(作家・夫婦のための定年塾主宰)

### ●第2回 「夫婦の年金一希望と誤解の年金分割」

1/25 お話: 塩田 咲子さん (高崎経済大教授)

### ●第3回 「卒婚のスズメ型にはまった結婚はイヤ」

2/1 お話: 杉山 由美子さん (フリーライター)

今、話題になっていること、ちょっと気になっていることをテーマに大いに語り合いました。

講義前半を講師のお話、後半は受講者との意見交換とし、リラックスした雰囲気が進められました。受講者の方から「たくさん意見が聞けてよかった」「身近に話し合えた時間だった」といった感想が寄せられました。



## 女性のための起業セミナー

さいたま市は内閣府と連携して「女性のための起業セミナー」を実施しました。経験や能力を活かして社会に役立ちたいと思っている女性の起業を支援しようと、起業に必要な知識やノウハウを基礎編と実践編のプログラム(下表)で熱心に学ぶ姿が見られました。

### 2/4 基礎編 (10:00~16:30)

天職、適職、希望職を見つける -起業・創業という選択  
NPO法人キープラネット代表 川野真理子さん

女性がずっと働き続けるということ -労働事情のいまとこれから  
朝日新聞記者・ジャーナリスト 竹信三恵子さん

### 2/5 基礎編 (10:00~19:00)

本気の独立・自立を起業で果たすには  
起業・創業コンサルタント・行政書士 山野井友子さん

事業計画書の作成 I -実際に計画書をつくってみよう  
(社)中小企業診断協会埼玉支部 中小企業診断士 木下裕美さん

交流会・情報交換会  
コーディネーター 川野真理子さん

### 2/18 実践編 (10:00~16:30)

事例発表・チャレンジ! 私の場合 -「好き」を仕事に  
(有)Eスタチオ代表取締役 中野登美枝さん  
Naoエンパワーメント代表 荒井直美さん  
NPO法人食生活カウンセラーの会代表理事  
(有)食生活取締役 堀啓さん

事業計画書の作成 II 夢をカタチに -事業内容を決める  
木下裕美さん、角田光則さん、高橋香さん

### 2/19 実践編 (10:00~16:30)

事業計画書の作成 III 設計しよう、おカネの計画  
木下裕美さん

事業計画書の作成 IV 夢の公開、私の計画  
木下裕美さん、角田光則さん、高橋香さん

プレゼンテーションとコメント  
木下裕美さん、角田光則さん、高橋香さん

### 2/25 個別相談会・勉強会 (10:00~12:00)

個別相談による勉強会と懇談会  
木下裕美さん、角田光則さん、高橋香さん、船田雅美さん、七澤教一さん

## 学びから実践への第一歩

1/29に「女・男フェスタさいたま」で、さいたま市男女共同参画推進団体の「大宮つけの会」と「めんどり会議ふぁーすとすてっぷ」の共催による「学んだ!気付いた!語ろう!~私の男女共同参画~トーク&トーク」が行われました。そこでは一般の参加者に加え、「女性カレッジ」、「男性短期カレッジ」や「幼児をもつ母親のための講座」などパートナーシップさいたまで学んだ方々が多く参加し活発で率直な意見交換をしていました。(※平成16年度「女性カレッジ」修了者有志による自主グループ)

## 受講生の交流を求めて

「学びあうもの同士、交流の場があったらいいのに」との発想から、めんどり会議の初めての企画が始まった。企画準備や、発言者の交渉、会場設営までまさに手探り状態である。しかし、当日は用意した椅子が足りなくなるほどの盛況で、ホッと胸をなでおろした。

パートナーシップで学んだ受講生や当日フェスタで集まった一般の参加者を前に、発言者は学んだこと、気付いたこと、生活にどう生かしているかを語っていた。

質疑応答では発言者の話を受けて、「夫婦の溝を埋める」というテーマが浮上した。子育て中の若い母親が解決策としてアドバイスを求め、それを受けて子育てを卒業した参加者が自らの経験談を披露した。

数多くの質問者が出て、あっという間に終わってしまった1時間半であったが、アンケートには次回の開催を望む声も多く、このような性別や世代を超えた人々の共有の場の必要性を痛感した企画だった。(鈴木 久美子)

